

大阪市大阪港湾局設計・施工技術連絡会議 議事録

工事名称	港区第 4 号及び第 5 号はしけ橋補修工事		
会議名称	第 1 回	大阪市大阪港湾局設計・施工技術連絡会議	
開催日時	令和 3 年 10 月 28 日（木）16 時～		
開催場所	大阪港湾局 第 6 会議室（ATC ビル ITM 棟 10 階）		
出席者 （役職・氏名）	発注者 【大阪港湾局 計画整備部 保全監理課】 保全監理課長：足立 保全監理課長代理：原 設計担当課長代理：田野 担当係長：多川（設計） 担当者 ：橋爪（工事） 小島（設計）	設計コンサルタント等 【いであけ】 管理技術者：井上 岡庭	受注者 【ヤマト・井上特定建設工 事共同企業体】 監理技術者：結城 現場代理人：藤本 主任技術者：田中

議題・議事の内容

○議題. 補修工の変更について(1) 第4号はしけ栈橋既設部スパン4及びスパン6の既設杭の撤去及び杭新設について

【大阪港湾局計画整備部保全監理課】

- ・本工事は、令和2年10月1日付で工事契約を締結し令和4年3月31日工期として、第4号はしけ栈橋既設部(スパン1～6)から着手し、第4号はしけ栈橋延伸部(スパン7～12)、第5号はしけ栈橋の順で施工する計画となっているが、第4号はしけ栈橋既設部で杭の不具合が発見されたので、受注者からの説明をお願いします。

【ヤマト・井上特定建設工事共同企業体】

- ・第4号はしけ栈橋は1スパンあたり12本の既設鋼管杭で構成されているが、第4号はしけ栈橋既設部スパン1から6の施工中に、スパン6-⑥の既設鋼管杭1本が倒壊するという事象が発生した。発注者の指示に基づき残る杭の調査を行った結果、スパン4-⑦⑩⑫の既設鋼管杭3本に杭と海底地盤面に隙間が空いていることが判明した。

【大阪港湾局計画整備部保全監理課】

- ・発見した既設杭の不良箇所への対応について、同じ位置に新たな杭を打設することを検討したが、破断等により既設杭の撤去ができないため、杭の位置を変更せざるを得ない状況となった。
- ・新設杭の変更位置については、最小限の移動範囲となるよう考慮し、障害物調査の結果を踏まえて、縦断方向に、スパン6-⑥は杭中心位置から南側に1.5m位置を変更する。
スパン4-⑦は既設の杭中心位置から北側に1.5m位置を変更し、スパン4-⑩は既設の杭中心位置から北側に1.5m位置を変更し、スパン4-⑫は、既設の杭中心位置から南側に1.5m位置を変更する。
- ・鋼管杭は対面に位置する2本の杭を一組として構造計算をしているため、新設杭に合わせて対面の杭についても、杭位置の変更を行うこととし、既設杭の撤去及び杭新設を行う。
- ・新設する杭は、現場条件に変更が無いことから既設杭と同等とし JIS A 5525 に規定する SKK400、φ600mm×長さ約26mとする。
- ・以上により、杭打設工の追加を行い、関連して必要となる上部工対傾鋼及びH鋼のサイズ変更、渡版の設置を行うものである。

【いであ株】

- ・杭の構造上の計算は対面に位置する 2 本を一組として検討しており、杭位置の配列が変更されたとしても平行の位置に変更することとなり、構造上のバランスが取れた配置となっていることから、今回の変更内容について、特段の問題はないと考える。

【ヤマト・井上 特定建設工事共同企業体】

- ・施工上の支障がなく特段の問題はないと考える。

○その他

【大阪港湾局計画整備部保全監理課】

本日の議事を踏まえて契約変更を行うこととする。

以上